

きゅうさどころざんさいこうしせつ

重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設の修理をしています

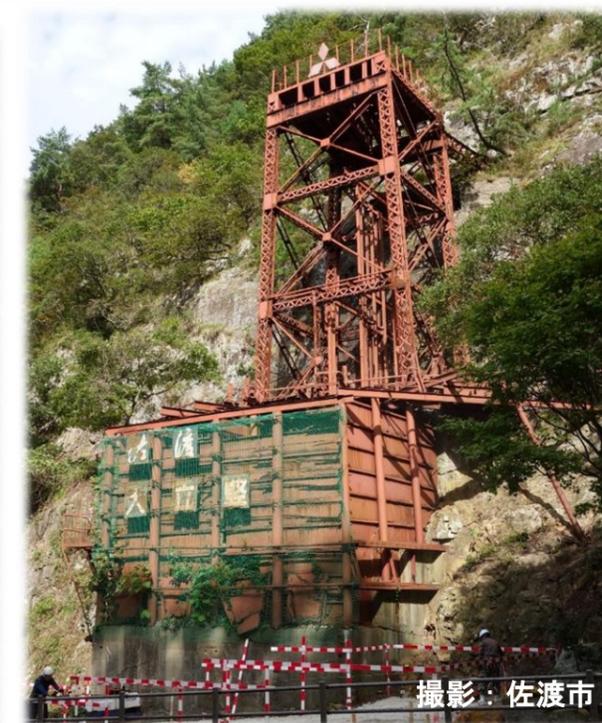
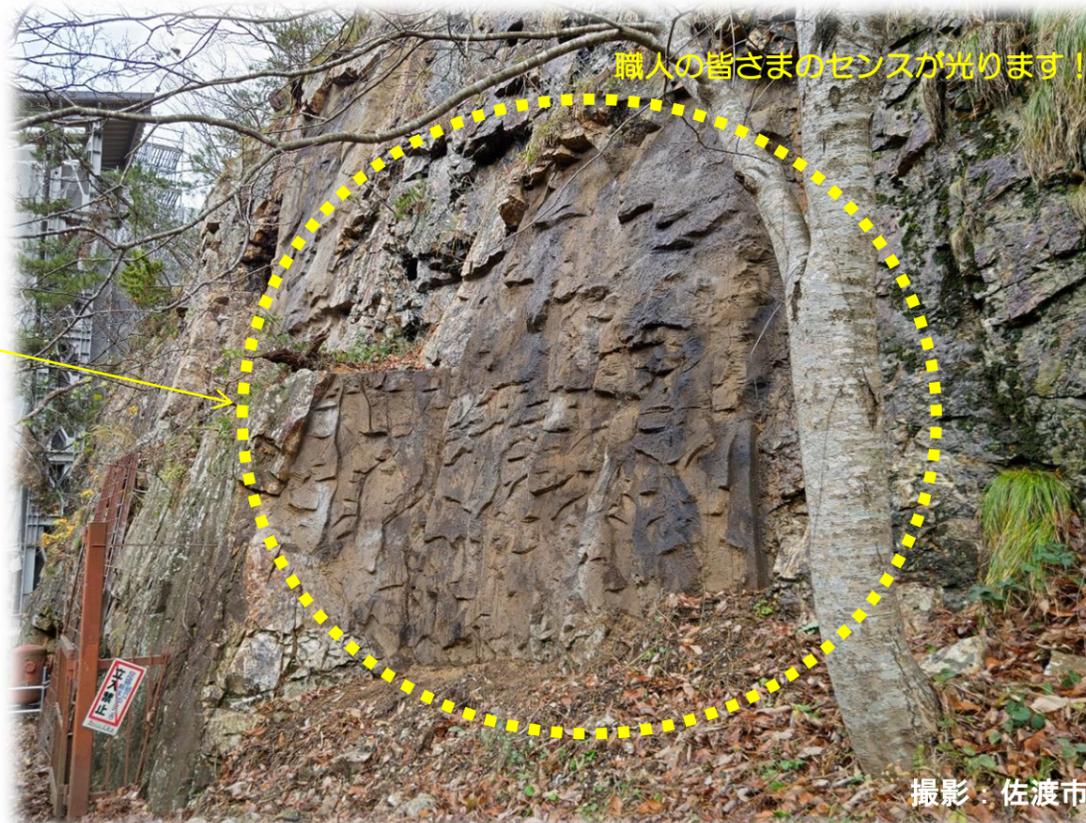
◆建物の紹介（右下の写真）

現存する大立^{おおだてたて}竪坑^{こうやぐら}櫓は、昭和初期に建てられた坑内と坑外を繋ぐための施設です。上部櫓の下には延長165mに及び竪坑（垂直方向の坑道）とそれに接続する水平坑道があり、上部櫓に取り付けられた昇降ケージによって坑道内の鉱石などを運搬する際に利用していました。

◆令和5年度に行ったこと（左下の写真）

「これから修理に携わる方々の安全」と「修理後に来訪されるお客様の安全」を守るために、落石対策を実施しました。本年度の工事では「岩^{がん}接^{せつ}着^{ちゃく}」という工法で落石の恐れがある岩と斜面とを一体化させつつ、周囲の景観に馴染むような工夫を施しました。周りの斜面と形状や色合いを似せるなど、工夫を凝らしましたので、こちらのお披露目も楽しみにして頂ければ幸いです。

落石対策工事は令和6年度以降も継続しますが、皆さまの安全を守り、文化財を災害から守るためには欠かせない工事になります。



▲ 大立竪坑櫓（修理工事前）
修理工事が終わるまで、建物は見られません



本工事は、文化庁・新潟県の補助を受けて、佐渡市が実施しています。
お問合せ先：佐渡市世界遺産推進課 0259 (74) 2215